

平成27年第1回白石町議会定例会会議録

会議月日 平成27年3月20日（第15日目）
場 所 白石町役場議場
開 会 午前9時30分

1. 出席議員は次のとおりである。

1番	川崎一平	10番	秀島和善
2番	前田弘次郎	11番	井崎好信
3番	溝口誠	12番	大串弘昭
4番	大串武次	13番	内野さよ子
5番	吉岡英允	14番	西山清則
6番	片渕彰	15番	岩永英毅
7番	草場祥則	16番	溝上良夫
8番	片渕栄二郎	17番	久原房義
9番	久原久男	18番	白武悟

2. 欠席議員は次のとおりである。

なし

3. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

町長	田島健一	副町長	杉原忍
教育長	江口武好	総務課長	百武和義
企画財政課長	片渕克也	税務課長	吉原拓海
住民課長	渕上隆文	保健福祉課長	堤正久
長寿社会課長	片渕敏久	水道課長	荒木安雄
下水道課長	赤坂和俊	産業課長	赤坂隆義
農村整備課長	嶋江政喜	建設課長	岩永康博
会計管理者	岩永信秀	学校教育課長	本山隆也
生涯学習課長	小川豊年	農業委員会事務局長	一ノ瀬美佐子

4. 議会事務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長	鶴崎俊昭
議事係長	久原雅紀
議事係書記	片渕英昭

5. 会議録署名議員の指名 会議録署名議員に次の2人を指名した。

17番	久原房義	1番	川崎一平
-----	------	----	------

6. 本日の議事日程は次のとおりである。

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 議案第26号 平成27年度白石町一般会計予算 (討論・採決)
- 日程第3 議案第32号 平成26年度白石町一般会計補正予算(第8号)
(質疑・討論・採決)
- 日程第4 議案第33号 副町長の選任について (質疑・討論・採決)
- 日程第5 議案第34号 佐賀縣市町総合事務組合規約の変更に係る協議について
(質疑・討論・採決)
- 日程第6 発議第1号 町長の専決処分事項の指定に関する条例の一部を改正する
条例について
- 日程第7 議員の派遣
- 日程第8 常任委員会の閉会中における所管事務調査

9時30分 開議

○白武 悟議長

おはようございます。
これより本日の会議を開きます。

日程第1

○白武 悟議長

日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。
会議規則第119条の規定により、本日の会議録署名議員として、久原房義議員、川崎一平議員の両名を指名いたします。

日程第2

○白武 悟議長

日程第2、議案第26号「平成27年度白石町一般会計予算」を議題とします。
本案は、質疑が終わっておりますので、討論に入ります。
討論ありませんか。

○秀島和善議員

私は議案第26号「平成27年度白石町一般会計予算」に反対の立場で討論をさせていただきます。

本町の農家の方々、多くの御商売をする方、また高齢者、若い子育て真っ最中の若者なども厳しい経済状況から脱し切れずに毎日医療、雇用、生活、子育て、農業運営などに大きな不安を抱えて生活をしています。このような実態にあるからこそ暮らしと福祉と産業の守り手としての行政の仕事は全力を挙げて一人の町民も露頭に迷わさないという決意と予算で臨むべきです。今回、新年度予算に中学校3年、小学校6年

などの給食費無料化など一定評価する内容も盛り込まれていますが、以下9点の予算の内容に対してはどうしても賛成しかねますので、田島町長は町民の暮らしと命を守る立場で責任を持って予算の組み替えを要求いたします。

まず第1に、高い国保税を引き下げするために国民健康保険特別会計に思い切った繰り入れを行い、1世帯年間1万円の引き下げを実行すべきです。

第2に、後期高齢者医療制度への負担金は町民の願いとは逆行しています。財界が喜ぶような医療制度ではなく真に町民のためになる医療であり、老後が安心できる医療制度が必要です。一日も早く制度を廃止して、もとの老人医療制度へ戻すことが必要です。

第3に、障害者自立支援法関連予算について反対であります。新しい体系に移行すると言っていますが、法律上の応益負担と日割り補助については廃止をしていく必要があります。

第4に、子供の医療費の無料化事業を高校卒業までにすること、700万円の予算があれば新年度からでもすぐに実現可能です。

第5に、同和事業や同和教育などを特別視することにつながる予算は廃止すべきです。

第6に、新幹線西九州ルート事業の推進を図る事業費の謝礼金とも言える補助金は不要です。佐賀県民の約7割弱が長崎新幹線は無駄であると言っている中、何ゆえ町民、県民の血税である3,000億円近い予算を使う必要があるのでしょうか。そのような県民の意向と逆行することに税金は使わずに県として一日も早く子供の医療費の無料化を小学校6年生まで実現することこそ必要ではありませんか。

第7に、高い水道料金を引き下げするために水道特別会計に繰り入れを増額すべきです。

第8に、新エネルギー計画の具体化のためにも太陽光発電システムの導入促進のための補助金は今後も必要です。

最後に、第9として住宅リフォーム事業の実現を図ることを求めます。

以下、9点の予算の組み替えを要望いたします。

生きる権利は町民にあり、守る義務は国と県と町にあるのです。現在、政府は年金引き下げや支給年齢は68歳にする考え、その上消費税率を8%から10%へと引き上げる計画です。国が町民の命と暮らしを守らないのであれば、最後のとりでとしての白石町が体を張って町民の暮らしと命と福祉を守るべきではありませんか。議員各位の御理解と御賛同をお願いし、反対討論とさせていただきます。

○白武 悟議長

ほかに討論ありませんか。

○片渕栄二郎議員

私は「平成27年度白石町一般会計予算」に賛成の立場で討論いたします。

平成27年度当初予算については、社会保障費の増大や国営筑後川下流白石土地改良事業の償還金、また本町の財源において大きな役割を占める普通交付税の合併優遇措

置の終了など、今後の財政需要を見込み、将来を見据えた予算編成が行われている。今後、公共施設の老朽化対策など増大する財政需要にも対処する必要があり、職員の定員適正化計画による人件費や地方債の借り入れ抑制、義務的経費の圧縮に努められ、限られた財源の中で必要な事業への積極的な推進を図る一方、事務事業の見直しや事業間の優先順位の選択を行い、婚活サポート事業の継続、公営住宅ストック総合改善事業による改修を行い、町営住宅の長寿命化や子供やお年寄りの安全を守る歩道の設置など、町道の改良や町民の健康づくり事業、子ども・子育て新制度や認定こども園への対応、6次産業、集落営農の法人化への推進、肉用牛肥育農家の経営支援、商工業の振興、筑後川下流土地改良事業償還金の利子負担の軽減を図るために繰上償還、小学校の国語、算数などのデジタル教科書の導入、パークゴルフ場の整備など中・長期的な展望を見据えた予算編成となっている。

以上のようなことから、議員各位の御賛同をいただくようお願いし、平成27年度白石町一般会計予算に賛成討論といたします。

○白武 悟議長

これで討論を終わります。

これより議案第26号「平成27年度白石町一般会計予算」について採決をいたします。本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立多数です。よって、議案第26号は原案のとおり可決されました。

日程第3

○白武 悟議長

日程第3、議案第32号「平成26年度白石町一般会計補正予算（第8号）」を議題とします。

これより質疑を行います。

なお、質疑の際は、補正予算書の何ページ、補正予算説明資料の何ページとはっきりお示しをください。

質疑ありませんか。

○溝口 誠議員

8ページの地域づくり推進費、説明資料は6ページ、この予算額が970万円ということで、この件は本当に今まで白石町の地域活性化ということではいち早く取り組んでもらいたいということで要望もしておりまして、やっとこの予算が組まれました。そういうことで目的の中でこの従来の通過型、団体型のスタイルから交流型、個人型、行動型へのスタイルへの対応ができる観光産業の構築を目的とするということで、ここをもう少し具体的に御説明を願いたいと思います。そしてまた、事業内容としてこの庁舎内及び有識者で組織する白石町観光推進協議会の設立とあります。この協議会の人選ですね、どういう方々が対象となって人選をされるかということでございます。お願いします。

○赤坂隆義産業課長

この地域資源活用観光振興事業につきましては、議員の皆さんからもいつもお尋ねがありがとうございます観光のきっかけとなるようなものをつくり上げたいということで今回お願いをしているところでございます。交流型、個人型、行動型のスタイルの具体的な意味はということですが、交流型というのは訪れた方々と交流や触れ合いを楽しむというようなことを考えております。個人型といいますのは、例えば女性のグループとか共通の目的を持った人たちのサークルといったグループ等を考えております。また、行動型というのは、ちょっと単なる物見遊山ではなく、地域固有の資源を活用した体験のツアー、またプログラムをつくり上げて、そのようなものに参加していただくということで今回目的の欄に掲げております。

人選については、町内、また専門の方を招き考えております。具体的には、今後協議をしていきたいというふうに考えております。

ということで、報償費等についても若干計上しております。

以上です。

○溝口 誠議員

説明いただきましたけども、ひとつ、町長、この点に関しましては、ここにありません庁舎内及び有識者とありますので、しっかり町のほうも取り組んでいただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○田島健一町長

この観光につきましては、これまでも議員さん、いろいろと要望等々御発言をいただいたところでございまして、私もこの白石町に観光協会がないとか、そういった観光を推進する母体がちょっと薄いんじゃないかなあという気がいたしておりました。そういうことで先ほど課長も申しましたけども、いろいろと町内にはございますので、役場の中の職員だけでなく広く町民の方たち、また外からの方のお力もいただきながら協議会の話を持っていきたいというふうに思います。もちろん協議会を早く立ち上げて早く動いたほうがいいわけですが、じっくりとそこら辺は新規に立ち上げるということでございますので、じっくりと検討してまいりたいというふうに思います。

以上でございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑。

○前田弘次郎議員

予算書9ページ、説明資料の2ページ、元気しろいしプレミアム商品券の分ですが、発行金額のところにありますけど、20%の場合が1億2,000万円、10%の場合が2億2,000万円ですが、商工会の会員からいけば2億2,000万円のほうが発行の金額が

大きくていいんですけど、消費者のほうから見ればプレミアムの20%がいいという考えがあると思います。あとほかの市町では多分ここ30%という話も多分新聞に出てたんじゃないかとは思いますが、その辺、もし他の市町で30%ということがあったときに白石町は10%か20%でいくのか。

それと、次の説明資料の3ページの県のプレミアム商品券の町内消費拡大事業の分で、これ抽せんということで考えておられますけど、抽せんの期日が3日間で9日間ということは、朝から昼までの分のこの間の人件費がまずないということですね。これは商工会にお願いするというので、商工会に丸投げするような形になるのか、それとこの抽せんをするということで補助券の印刷等、またお金がかかります。ちょっとこの辺の中身を変えていただくようなことは考えができるか。

以上、2点お願いします。

○赤坂隆義産業課長

今回、まず2ページの元気しろいしプレミアム商品券ですけど、今回発行額を1億円、2億円にするのか、それでプレミアムが1割ということでちょっと考えてますけど、この分については他市町村が20%、他市町村で隣接の市町で20%になれば多分そちらのほうに流れるということも考えられますので、その辺は今後の動向を見ながら10%にするか20%にするか、この部分は考えていきたいと思います。30%については、ちょっと手持ち資料持ちませんので、後もって報告をいたしたいと思います。

それと、3ページ目の県プレミアム商品券町内消費拡大事業の件ですけど、これにつきましては、目的に書いてますとおり、県のほうで6月に発行されます全県の商品券ですね、佐賀わくわくプレミアム商品券が発行されますけど、この分については、うちの考えとしては商工会のほうに補助金で流して商工会のほうで実施してもらおうというような考えを持っております。この抽せんの期日とか仕方とか、その分については、今後なかなかこの予算がつかしまったのが、もう年明けてからもう年末近くになってからのことでしたので、なかなか商工会とも話し合いがまだ正式な詳細にわたっての説明、打ち合わせが進んでおりません。今後商工会あたりと十分協議して決めていきたいと思います。それで、ここに事業主体は白石商工会といろいろ書いていますけど、これについては今協議しまして、皆さん方に例会の折にでも決まったことについてはおつなぎをしていきたいというふうに考えております。

以上です。

○前田弘次郎議員

元気しろいしプレミアム商品券の分は多分12月に考えていらっしゃると思いますので、ちょっとまだ期間もありますので、その30%のほうの検討もよろしくをお願いします。

それと、あと県のほうは多分6月の発行やったですかね、ちょっと私のほうでこれ質問というよりやり方ですけど、このプレミアム商品券自体を抽せんするようなやり方をして、それを産業課長さんか町長さんあたりにテレビ中継をしながら引いてもらうのがいいかなと思います。この商品に書いてありますけど、家電製品と景品があり

ますけど、例えばプレミアム商品券で洗濯機を買って、抽せんしてまた洗濯機が当たったということもありますので、この辺の景品の中身もちよっと考えられてはどうかなどは思います。

○赤坂隆義産業課長

この県のプレミアム商品券につきましては、抽せん、県にしたらということですが、この辺は今回福引券等を準備しますので、その辺も含めて今後検討していきたいというふうに思います。

それと、ここに景品ということで列記してありますが、旅行券とか家電製品とかしてありますが、この分についても詳細にわたりましては商工会あたりと協議しまして決めていきたいというふうに思います。

以上です。

○川崎一平議員

説明資料の7ページ、白石がばいよかとか発信事業、この中の13節に委託料があります。1つはPR用動画作成委託料、もう一つがホームページリニューアル委託料、PR動画作成委託料に関しては428万円、ホームページリニューアルに関しては1,277万7,000円、ごめんなさい、PR委託料が、消費税、ちょっと別で申し上げております。このPR動画の作成委託料、これはどのような形で10本、5分程度の動画を10本つくるということで書いてありますが、こういった投げ方と申しますか、発注のかけ方をされるのかということと、もう一つホームページリニューアル委託料、これ1,200万円以上のお金が計上されておりますけれども、今既存のホームページを一から作り直してスマートフォンとかタブレット端末等に対応できるような形をとるといふやり方に関しても、ちょっとどうやって1,200万円以上のお金を見積もられたのかというところの御説明を、以上2点、よろしく願います。

○百武和義総務課長

予算内容説明の7ページのところですが、まず1点目のPR動画の中身と、それから発注の仕方はという御質問でございます。この中身につきましては、1番の補正の理由のところに書いておりますけれども、白石町の資源、特産物とか風景とか人材、文化財、こういったジャンルごとに10本に分けて5分程度、1本当たり5分程度の時間となりますけれども、この動画を作成したいということで考えております。発注の仕方については、先ほど言いました内容を主要といたしまして主に指名願を出しておられる業者を選定しまして入札と、こういった入札になるかというのは、ちょっと今の時点ではまだちょっとはつきりわかりませんが、指名による入札で行いたいというふうに考えております。

それと、あとホームページのリニューアルの件でございますけれども、この金額については、非常に1,183万円ということで大きい額になっております。これについては、先ほど産業課長のほうも申し上げましたが、非常にこの計画書の提出までに期限がなかったということで、一応全面的なリニューアルでということになって複数の業者か

ら間に合うところから見積もりを提出をしていただいで、それを参考にこの金額を計上いたしております。それで、実際発注する際は、もう少し詰めたところで仕様とかを検討しまして、これについては提案型の形で入札になるのかなということで考えております。

以上です。

○川崎一平議員

まず、PR動画作成委託料のほうですね、PR動画を1本5分程度を10本つくって、それをユーチューブですとか、そういった媒体に載せるわけですよ。この動画を10本つくって10本を個別で流すのかって、そもそもこのPR動画を業者に1カ所に委託してつくってもらうというのも、もちろんその手段としてはあるんですけども、白石町内にいろんな団体があるわけですよ、例えば白石青年実業会ですとかJA青年部、漁協青年部、その他商工会青年部なんかもあるわけですよ。その中には、私も知り合いにいますけれども、まずもってハッカー並みのネットワークの使い方とかパソコンの使い方、もう専門家に近いような人材も多々いると思うんですよ、実際にいるんですけども、そういった団体に投げかけて町内からつくっていただく、町内につくっていただいで、その予算を町内の方に使っていただくというようなやり方も検討していただきたいなあと。募集形式ですね、以前ありましたしろいしみのりちゃんの歌なんかもそうなんですけれども、やはり外部に何でも丸投げしてしまうのは簡単なんですよ。でも、その外部の方がどれだけ白石町のことを知ってるのかと、どれだけ携わってるのかという本当の熱い思いというのは、白石町内で生活し、仕事をしている人たちのほうが私は強いと思います。そういった方の中にそういったパソコンとか動画をつくるに当たっての技術というのにたけた人がいるのであれば、そういった人とかに、そういった団体がメインになると思うんですけど、そういった人材を活用と言ったら語弊がありますが力をお借りして、そういった町内のほうに予算を、せつかく400万円以上のお金をつぎ込むのであれば、そういった形もとれないかな、これはひとつ提案なんですけれども、そういった形をとれないか。

もう一つのホームページリニューアルなんですけど、通常私たちがホームページ作成会社にホームページの作成を依頼すると20万円から30万円ホームページというのは大体できるんですね。高くても30万円程度という私の認識、私が福岡とかにそういう会社があるんですけど、そういったところに頼むと、そういったつくり方でつくっていただける。それに対して1,200万円以上というのは、余りにも桁違いにかけ離れていたんで、ちょっと納得がいけない数字だなということで思っております。その辺、ちょっとPR動画の町内各種団体に投げかけとか、その辺も検討できないかということと、このホームページリニューアル委託料に関しては、ちょっとどうしてくれとか、そういう提案もちょっと今のところできるような、余りにもちょっとかけ離れ過ぎて、数字的に、予算的にかけ離れ過ぎてるんで、ちょっとそこは答弁は結構でございます。PR動画に関しては、そういった町内のいろんな団体への投げかけとか、そういった町内波及の予算の立て方をしていただきたいという提案と、その辺で何かありましたら答弁をお願いします。

○百武和義総務課長

PR動画の発注について、町内の団体の方とか町民の皆さんにお願いしてはという御質問かと思えます。この事業につきましては、国の経済対策という趣旨がございまして、まず特に県内といいますか、できれば町内の業者のほうに発注をして経済対策を図るといった趣旨もございまして。それと、あと先ほど議員もおっしゃいましたようにホームページなりユーチューブなり、そういったところで見ることができるというふうなことから、非常に少し専門的な部分もあるかと思えます。先ほど御意見ございました件については、またちょっと時間がございませんでしたので、そこまでの細かい検討はしておりませんが、そういったこともあわせて新年度入りしましたら検討させていただきたいと思えます。

○川崎一平議員

PR動画に関してですけど、町内にそういったのを請け負う業者というのは実際あるんでしょうか。

○百武和義総務課長

細かに指名願とかが出てるのかとかという調査はまだしておりませんが、この事業の目的が国の経済対策ということで、できるだけ県内、また町内に企業があれば、そういったところを活用していただきたいという事業でございまして、その趣旨をまず考えながら、できるだけ町内の方があれば、そういったところにも発注をとすることはもちろん考えていくべきと思えます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○西山清則議員

同じ説明資料の7ページですけども、このPR活動ですけども、どういった内容でPR活動をされようとされているのか、旅費が5回になっておりますけども、東京、大阪、福岡とどういったPR活動をされようとしているのかを伺いたしたいと思います。

○百武和義総務課長

旅費のPR活動、東京、大阪、福岡等ということで記載をしております。8万円の5回ということで一応書かれておりますけども、これについては町長がトップセールスということでのことを今のところ計画をしているところでございます。

○西山清則議員

町長はトップセールスとして、それは構いませんけども、今度町の職員が都道府県会館のほうに出向されますので、そういった方を活動させてはどうかと思っておりますけども、そういう方向ではいけないんでしょうか。

○百武和義総務課長

首都圏営業本部に派遣する職員の活用という御質問でございますけども、これについてもさきの一般質問のときにも答弁いたしましたけども、県のPRだけじゃなくて、もちろん白石町のPRもしていただきたいということで申し上げましたけども、こういったPR活動にはどんどん入っていただきたいというふうに思っております。

○西山清則議員

町長が出向くのもいいんですけども、もっと職員の中にも私はこう考えてる、こうやりたいという方がおられれば、一緒にそういったPR活動に努めて執行させていただきたいなと思いますけど、その辺の考えを。

○百武和義総務課長

職員によるPR活動はという御質問だと思いますけども、この件につきましても、今年度も町長のトップセールスということだけではなくて、役場のほうに入ってからまだ数年という年的には若い職員を、そういったときに随行させて、勉強もさせるとかといったことも行っております。そういったことで職員による活動についても十分に考えていきたいというふうに思います。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○久原久男議員

先ほどのこのPR動画の件ですが、今、この462万円ですか、ちょっと常識から考えてちょっと高過ぎるんじゃないかと、そういうふうに思うわけですが、今、答弁ありましたが、課長、ユーチューブに白石町の商工会青年部がやっている「ひ〜でんナビ」というのを見たことありますか。

○百武和義総務課長

ちょっと私のほうは確認しておりません。済みません。

○久原久男議員

そういうのを見てもらって、そしてこういうふうな施策やっていきたいと、やってもらいたいと、そういうふうに思うんですが、費用的に考えたら、この半分以下、100万円ぐらいでできると思うんですよ。そして、このホームページのほうも一緒です。ちょっと今私が申し上げたいのは、膨大な金がかかり過ぎるんじゃないかと。国の施策で地域振興とかいろんなことで今予算づけされているというふうに思いますが、その辺のことについて、企画財政課長、どういうふうな考え。

○片渕克也企画財政課長

今、大変話題になっているのが佐賀市のWR S Bですかね、が大変今日本全国で話題になっております。想定というか、あれ以上のものをつくりたいという意気込みを持っております。そういったことで予算的にも、たまたまこの交付金がございますので、これを活用して、白石町をそれこそ全国レベル、世界レベルにまではいかないかもわかりませんが、完全に全国レベルというふうな、そういった気概を持って予算を編成しているところでございます。

○久原久男議員

これだけ高額な金をつぎ込んだらいいもんができれば、そういうふうには限らないと思うんですよ。町内にそういった方がおられる場合は、できるだけ町内の方を優先してもらって、町内が潤うようにやっていきたいと、そういうふうな政策をやってもらいたいと、そういうふうには思うわけです。もう一回総務課長、どうですか。

○百武和義総務課長

これについては、先ほども申し上げましたけども、計画書提出までに非常に間がなかったということで、ちょっと金額を出すに当たりまして、業者のほうの見積もりをとらんとなかなか算定ができなかったということで、業者の見積もりをもとに予算は計上しております。これについて、新年度に入りましたら、もちろん内容をもっと精査して、もう少し安くできないか、町内の方に発注できないか、こういったことはもちろん検討していきたいというふうに思います。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○吉岡英允議員

説明資料の2ページでございます。前田議員の質問と関連でございます。元気しろいしプレミアム商品券2015発行事業でございます。これの私は聞きたいのは、今回の発行金額は1億2,000万円並びに2億2,000万円というふうな相当たる金額でございますけども、以前プレミアム商品券について発行ですか、ある一定の方がいっぱい買われて、おいも買おうと思っと思ったけどという声は後日、もう売れてしまって、後日に買おうと思っと思ったけどというふうなことで言われた方もいらっしゃいますので、我が町はこの発行事業につきまして、その世帯数で制限をする考えなのか、もう幾らでもよかけんが、基本さばかしたいという考えでされるのか、その辺の考えをお聞かせください。

○赤坂隆義産業課長

このプレミアム商品券については、過去、21年に4,000万円、22年に4,000万円、23年度には第一弾、第二弾と合わせまして1億円、また24年には4,000万円というふうになされております。過去の反省では、平成23年度には無制限にしたら、ほぼ1時間ぐらいで完売したというような報告がっております。今回についても1億円なの

か2億円なのか、今から検討していくわけですが、制限等については今後商工会とも話しながら進めていきたいというふうに思います。これについても後もっておつなぎをしたいというふうに思います。

以上です。

○吉岡英允議員

よろしく、よく検討されて、後から町民さんの皆さんからクレームが出ないように検討をよろしく願いしておきます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○草場祥則議員

資料説明の8ページですかね、白石農業塾ですか、私もこれ一般質問で言いましたように、この研修にぜひとも佐賀農業高校を入れてもらって、そういうふうな計画はないわけですか。佐賀農業高校との提携といいますか、この前ちょっと校長先生にお会いしたら、なかなか町と話をしてそういうふうなタイアップしてやりたいというようなことをおっしゃったもので、私は思うには、この農業のこういうふうな研修ですか、これも一つの町の産業になりやせんやろうか、よそから呼んで、実際いろいろ実地でされるところもあるし、佐賀農業高校もあるということで、福富でも個人の方がタマネギ関係ですけど外国から来る人をそこにストックして日本語を練習させたり日本の風習を教えたり、そういうふうな事業をされております。ですから、そういうふうなことで、彼らでも呼んで佐賀農業高校を利用して農業技術を教えるというようなどこまで、これは先の話ですけど、この件はこの白石農業塾は佐賀農業高校もぜひそういうふうなものに参加させてやられたら、ますます効果が上がりやせんかなと思いますけど、いかがでしょうか。

○赤坂隆義産業課長

この白石農業塾につきましては、一般質問等でもあっておりましたけど、これは今回地方創生の先行型で政策分野の中で人の流れ、仕事づくりを国のほうで側面的に支援されるものでございまして、県外からの生活の拠点を移したものを農業団体で受け入れということでしていますので、佐賀農業高校を卒業されて向こうに出られて、そういった方については対象になろうかと思えますけど、直接佐賀農業高校とはちょっとかわりは、この事業については今はないというふうに考えております。

○草場祥則議員

町外から呼ぶわけでしょう、町外からですね、この研修生というのはですね。違うとかな。

○赤坂隆義産業課長

8 ページの事業内容に書いていますけど、県外の地域からということにしておりません。

以上です。

○白武 悟議長

県外から佐賀農業高校に受け入れられないかと。

○赤坂隆義産業課長

失礼しました。研修の場所を佐賀農業高校にという意味ですね。今現在、最終的な打ち合わせしてませんが、今私たちが考えてるのは、今 J A さんと相談して受け入れができないかということ相談をしているところです。佐賀農業高校を研修の場所ということですけど、これについても検討はしていきたいというふうに思います。

○草場祥則議員

佐賀農業高校だけという意味じゃなくて、農協は農協でいいですけど、その中の一つの基礎的なものとかなんとかはやっぱりちょっと1時間ぐらいタイアップしてされたら効果がますます上がるんじゃないかな、そういうふうに思います。校長先生も乗り気の話をしておりましたので、ぜひとも話を進めていただきたいと思います。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○前田弘次郎議員

説明資料4 ページ、子育て世帯応援事業です。これは久原議員さんからもたしか滞納の方への商品券をどうするかということでお話があったと思いますが、その点と、確かにこの商品券を発行することで町内の商工関係の方は大変喜んでおられます。これを次年度あたりも考えがあるのか、これ町長さんをお願いするかな、お願いします。

○本山隆也学校教育課長

先ほど御質問の説明資料4 ページの子育て世帯応援事業の滞納の方たちへの対応でございます。やっぱり議員おっしゃるとおり善良な納税の方あるいはまたきちんと給食費を納めているお方との不信感を招かないように、そしてまたここが出発点となりました少子化対策あるいは子育て支援という少しニュアンスの違う部分をしっかり検証しながら、この部分についてはこれからまた交付する間に要綱等も必要かと思しますので、そこら辺に織り込むべく、どのようにしたらいいか、大変ちょっと微妙なところがございますけども、検討していきたいと思っております。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○田島健一町長

先ほどの来年以降もというようなお話でございましたけれども、今年度につきましては周知期間が短いということでもってこの商品券にかえるわけでございますけれども、28年以降につきましては趣旨が子育て世帯に出費がかさむからということでの現金としとるわけでございます、全てを商品券にするのがいいかどうかというのは、1年間、またいろんな方のお話も聞きながら検討してまいりたいとは思いますが、ずっと商品券ばかりというのはどうかなという気もいたしております。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○井崎好信議員

説明資料の5ページでございます。まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業1,060万円計上されております。これは産官学あるいは労働団体、メディアも含めた有識者の会議をもとに策定をするようになっておりますが、このもう少し具体的にといいますか、詳細に説明をよろしければいただきたいというように思います。

○片渕克也企画財政課長

平成27年度中にまち・ひと・しごと創生総合戦略というのを策定をしていくということにしております。この中で、まず産官学金労言の各界、基本的には今考えてるところは、例えば大学の先生とかじゃなくて町内をよく御存じの町内の高校の先生たちとか就職の事情をよく御存じの方、こういった方たちの意見、あるいは産業においては町内の商工団体とか農業団体とか、そういったところで、金融機関については町内の金融機関、そういったところで考えているところです。そして、人事等の異動が落ちつきました4月になれば早々に委員の委嘱をいたしまして早々に会議を立ち上げたいというふうに考えております。そして、たたき台としては、いわゆる役場内の組織もありますので、こういったところでたたき台なりをつくって行って、そして審議会にお諮りをして、またいろんな意見をつけ加えて、あるいは助言をしていただくというふうなことで考えております。そして、この委託料の1,000万円でございますけれども、ちょっと弁解がちになりますけれども、この計画については外部に委託をしたいというふうに考えております。当然しかし丸投げという考え方は持っていませんので、会議の当初から入っていただくと、議事録の作成、またその中の助言、そういった面の策定のところからいろんなお手伝いをしていただくというふうに考えております。また、白石町版の人口ビジョンの策定もお願いをしたいというふうに考えております。そのほかビッグデータというのが今総務省でつくられて各自治体が自由に活用できるような、例えばお金の流れ、資産の流れ、物資の流れ、人の流れ、そういったものを日本全国どこからか、例えば白石町はどこの町とどこの市とが一番取引額が多いのかとか、佐賀県はどことが一番経済的な密着が強いのかとか、そういうふうな

細かな農産物はどうなのかとか、そういった細かなデータを日本全国のデータを集約したデータがございます。こういったものを当然計画の中で活用していかねばならないというふうに考えておりますので、そういったところの情報の提供、そういったことも考えているところでございます。そして、28年度の予算の編成、秋ぐらいから概算要求といいますか、かかってまいりますので、それぐらいまでには総合戦略という戦略を立てていきたいというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

○井崎好信議員

有識者の構成としては町内に精通をした方々を選考したいというようなことですが、それぞれの立場からこの25人の方のいろんな意見、提言をもとに作成をされていくというふうに思います。コンサルタント、私はもうその策定委員さんといいますか、有識者会議の中で策定をされて、それがもうそのものがもう策定になるかなあというふうな思いを、ことで理解をしておりましたが、コンサルタントも外部に発注をされると、当然有識者会議にも当初から参加をしていただくというようなことですが、その有識者会議の25名あるいはこの庁舎内の人口将来問題プロジェクトチームなりの提言、意見をもとに策定されるということはいかない、いかないわけですね、これは今回特別に国の地方創生先行型といいますか、そういった消化を、何かそういう予算を消化するような予算、全部今回補正追加がそういった委託、先ほどもちょっとお話出ましたが委託をして、何か丸投げして予算を消化していかんばなんというような見えてくるわけでございますが、そういうことにはいかないわけですか、策定する上で外部に発注をしてという形じゃないと策定は無理なわけですかね。

○片渕克也企画財政課長

無理なのかと言われれば、いや、町職員として無理じゃないですと言いたいですけど、でも先ほど申しましたとおり期間が非常に短うございますので、そこはこの交付金で国のほうでは都道府県が2,000万円計画の策定委託としての上限、その他の市町村が1,000万円を上限というふうなところで、そこまではいいですよという枠がございまして、とりあえず、とりあえずと言うと申しわけないですけども、とりあえず上限ということで予算計上をしているところでございます。それとあわせまして、議員も御承知のとおり、この予算というか交付金がされましたのが2月でございます。その間に予算編成、ずっとまず何をやるかというアイデアをいろいろ出さなくてはいけませんし、そのアイデアを具体的にどうして進めていくかということも考えていかなければならないですし、あるいは相手があることですから、相手の受け側の考え方も調整していくというふうなことで、非常に作業的に期間が短うございまして、まだ十分に詰め切っていないところがあるというのが正直なところでございます。このためと言っては申しわけないですけども、1ページに交付金が2つ合わせて1億290万3,000円という交付金額に対して一般財源で2,529万7,000円という割合的には二十四、五%の割合で一般財源をつけさせていただいております。繰越事業でもございますので、予算が通りますと次年度で補正予算をするということはできません。です

から、その辺も含めて柔軟に対応したいということで、総額で1億2,820万円という予算というふうなことで編成をさせていただいております。ただ、この執行に当たっては国のほうからも各自治体に即した柔軟な対応が可能ですというふうなことで1ページで記載してございますけれども、1番の地域消費喚起・生活支援型、この中では各市町の考えで比較的自由に流用をしてもいいと、そして同じ下の2番の地方創生先行型、この4つの事業の中でもそれぞれ流用していいというふうなことで通知がいただいておりますので、この辺につきましては町としても柔軟な対応をしていきたいというふうに考えております。ですから、先ほど来交付金額を示されて、それに無理やり金額合わせみたいな予算をつくったのではないかという御指摘でございますけれども、細かな一つ一つの事業の積み上げの期間が短かったということもございまして、その辺については来年度に執行ということも考えまして比較的柔軟な対応ということできさせていただいてるところでございます。

○井崎好信議員

柔軟にというふうなことで時間的にもなかったというようなことからだと思いますが、この事業は全国的に各自治体にこの先行型として国庫事業として予算配分がなされておると思います。それぞれ各自治体もその特性に合った自主性のあるアイデアが出されてくるのがこの事業の目的かと思いますが、それぞれコンサルタントも各これがそういった委託してもいいですよというふうなことで柔軟になされているならば、コンサルタントもそれぞれ各自治体から全国のその各自治体がもうコンサルタントに策定をお願いをするケースが出てくると思います。そういった場合にコンサルタントも忙しくはなるとは思います。この有識者会議をもとにコンサルタントというのは何も提言も何もなくて、ただ有識者会議の意見なり、あるいは提言をもとに策定されるわけでしょう。そのコンサルタントがこうなさい、ああなさいじゃなくて、それが提言、意見を100%受けられた形でしていくものだとは私は思います。でなければ、コンサルタントは本当に必要なあとという思いが、もっとほかの何かに予算消化をやっていいんじゃないかなあと、もっと違う形でこの地域創生、違う形でもいいんじゃないかなあとと思います。その辺、検討の余地があるとじゃなかですか。

○片渕克也企画財政課長

委託料の1,000万円でございますけど、先ほど上限というふうなことで申しましたが、一応これも見積もりをとっております。国のほうがそういうふうにもう1,000万円ということで、ほとんどどの業者に見積もりとっても1,000万円近くで持ってまいります。ただ、内容的には先ほど議員がおっしゃられたようにコンサルタントがつくったのは、それはコンサルタントにとる地域創生計画、戦略ですから、あくまでも白石町が白石町の地域創生戦略をつくらなければいけないというふうに思っています。ですから、実際内容的にはどこまで委託にするのか、その業務の内容というのは当然詰めていかなければいけないというふうに考えております。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○秀島和善議員

町長にお尋ねします。説明資料の白石がばいよかどこ発信事業です。

○白武 悟議長

何ページですか、ページ数。

○秀島和善議員

7ページですね、説明資料の7ページです。町長自身にお尋ねします。

前者からも厳しい意見が出されておりましたけれども、このホームページリニューアル委託料、消費税込みで1,277万7,000円というこの金額について、私も一般的に常識的な範囲で考えても二、三十万円でホームページは作成できるのではないかと思います。今回、補正でリニューアルするということで委託料で消費税込みで1,277万7,000円というのは余りにも破格の金額ではないかと思えますけれども、町長の認識はいかがなものでしょうか。

○田島健一町長

今、予算を計上させていただくに当たりましては、見積もりというのをとっているわけでございまして、今、私がここでこれは高いとか安いとかというのは、直接的には申し上げることはできないわけでございすけども、やはり町としての組織のホームページでございまして、いろいろなものがかみ合わさってるのかなあ、通常の個人商店とか小さな規模でのホームページと違っていろいろなものがあるのではないかなあというふうに思っております。しかしながら、先ほど言いますように、今のところ私自身もこれが高いか安いかわかりませんので、これについては実施に当たっては金額だけの話じゃなくて中身等々もじっくりと精査をせんといかんやろうというふうに思います。もちろん従来のホームページと違っていろんな今スマホとかなんとかございまして、いろんなやつに活用できるようなシステムになすということでございまして、とにかく役場職員も勉強して、これに対応していきたいというふうに思います。

以上です。

○秀島和善議員

総務課長にお尋ねします。関連してですけれども、現在のホームページの立ち上げはどのようになされたのか、これがまた1点です、現在のホームページの立ち上げはどのような形でなされたのか。そして2点目に、この消費税込みで1,277万7,000円ということで、前者の議員が積算根拠を問われましたけれども、時間がなかったということと見積もりをとったということだけはわかりました。その見積もりの内容を紹介していただけないか。

○百武和義総務課長

まず、1点目の本町のホームページの立ち上げの状況について御質問でございます。これについては、平成17年1月1日に合併をしましたが、その17年度にホームページの設定をまずいたしております。それから、平成18年とそれから平成21年に少しリニューアルをしてあります。それから、平成22年1月1日からここ新庁舎に移りました関係で新庁舎移転に伴うリニューアルを行っております。ホームページについては、立ち上げの状況については以上でございます。積算根拠をということで、ちょっと見積書をちょっと今は手元に持ってきておりませんので、後もって御報告させていただきたいと思っております。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○赤坂隆義産業課長

先ほど前田議員のほうより質問があつてましたプレミアムの件なんですけど、30%の市町村は県内では太良町と上峰町が2町が計画がなされているそうであります。ちょっとどうしてもプレミアム部分を高くしますと発行額が少なくなるということもあります。経済対策として効果的に行いたいということで、今回は10%から20%を基本に考えていきたいというふうに考えております。

以上です。

○百武和義総務課長

見積もりの内容についてでございます。これは2社のほうからちょっと見積もりをとっております。冒頭申し上げましたように、全面的なリニューアルという形で見積もりをしていただいております。1社目のほうが、項目別に申し上げますと、本体サイト、デザイン制作、ページ移行準備というもので473万円、それからドキュメント作成という経費が70万円、それから操作の研修ということで100万円、それからアクセシビリティ試験及び報告書作成というので70万円、それからサーバーの構築関連経費が120万円、それからソフトウェア関連でシステムライセンス関連が200万円、それとあと白石町ポータルサイト構築全体進行管理コンサルティング経費、これは現地打ち合わせ経費を含みますが150万円、これを合わせて1,183万円で、消費税込みで1,277万7,000円という見積もりでございます。

それから、もう一社につきましては、大きいものから申し上げますと、CMSソフトウェア費用といひまして、これホームページ上にデータを載せるときに決裁をとるというシステムでございまして、この費用で380万円、それからページのデザイン作成が120万円、それから、済みません、先ほどのCMSソフトウェアですね、決裁をとるためのシステムですけども、この費用関係で450万円程度、それから総合テストという項目で85万円、それからマニュアル作成操作研修で45万円、それからプロジェクト管理費用として104万5,000円、あとサーバーの構築費用が110万円、こういった

ことで、この会社については税込みで1,360万円の見積もりが出てきておりましたけれども、予算計上する際は1社名の見積もりをもとに予算は計上をいたしたところでございます。

先ほど申しあげましたように、この執行の際は、もちろん詳細に精査をいたしまして、内容等を検討しまして、こんなに費用はかからないと思えますけれども、執行の際には十分検討をしていきたいと思えます。

○秀島和善議員

現在のホームページの経過については平成17年度の11月からということで、18年、21年度に新たにホームページを改訂したということでした。そして、平成22年1月1日から現在のホームページになってるということですが、このような経過の中ではどこか業者にこのホームページ依頼をして先ほどのような経過になったんでしょうか。それとも、町独自で職員がそこに携わりながらホームページをリニューアルするというのをなされたのか、それはどうでしょうか。

○百武和義総務課長

過去にリニューアルした際には、もちろん業者委託でリニューアルをしております。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○溝上良夫議員

7ページですね。先ほど見積書の報告がありました。その見積書を高い、安い、わかる人がいるのかですね、まず、コンピューターのソフトというのは難しい部分があります。そういうところでお金にならないかもしれないですけども町内にそういう詳しい方に相談をすとか、そういうところは考えていないのか、相談料を払ってでもそういう人に相談をして金額の安い、低い、単純に見積書2つを比べて安い、高いじゃなくて、そういうことを考えていないものかどうかお伺いいたします。

○百武和義総務課長

先ほど申しあげましたけれども、事業計画までに期間が余りにもなくて、それで今申しあげましたうちの1社は過去にリニューアルを依頼した業者でございまして、そういったところに御意見をお聞きしながらちょっと全面的に改修をするという前提で見積もりをお願いしますといったところでとった結果が今の金額でございます。さっきも言いましたように、執行の際には、もちろんもう少し詳しく調べて執行はしたいと思えます。

○溝上良夫議員

全面改修という言葉が強調されましたけど、全面改修というよりも修正なわけでしょう、結局、前のデータは全く参考にしないわけですかね。するわけでしょう。

○百武和義総務課長

それについては、もちろん今のホームページは参考にしながらということにはなりません。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

井崎議員に申し上げます。3回しておりますので、御了解いただきたいと思います。

○溝口 誠議員

5ページの説明資料であります、同じ人口ビジョンの総合戦略策定委託料1,000万円ですけども、これは先ほどから非常に高いというお話がございまして、もう一つ公共施設等総合管理計画策定委託料、これが審議をされましたけど、これが980万円でございます。かなり公共施設というのは白石町でもかなりの施設がありまして、これが980万円ぐらいかかるというのはわかります、ここは調査して。だけど、この人口ビジョンに対しての策定業務委託料の1,000万円というのは余りにも大き過ぎるということで、ここら辺はいかなるものでしょうか。同じ答弁ですけど。

○片渕克也企画財政課長

一応この計画のこの見積もりの内容を御紹介しますと、計画の策定、これ人件費がおおよそ400万円で、そのほかビジョンの策定、人口ビジョンの策定ですね、この部分が200万円で、総合戦略の策定300万円、その他ほかの諸経費もございまして、そういったところになっていくところでございます。ただ、これ、一応一般的というか、年間の予定で人件費等も策定をしてありますので、白石町としてはそんなに年間かけて悠長と考えておりませんので、その辺は今度新たに発注をする段階になって積算をして予定価格等適切に見積もっていきたいというふうに考えております。本来ならば概算の町で設計をして、見積額で計上するのではなくて、うちで概算の設計をして計上すべきが本来であったと思いますけども、ちょっと期間がなかったというふうなことで、とりあえず見積もりをもとに予算を計上しているというところでございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑。終わりました。

○大串弘昭議員

今の7ページから8ページにありますけども、まず7ページのほうにPR用動画作成ということがありました。この辺については、ちょうど白石農業塾にあります募集広告等の新聞とか雑誌等で150万円上げてありますけども、こういったものをリンクをして動画の中でもこういうふうに白石町の募集関係PRをして都会の人からでも来てもらうというふうな方法をとられないものか、その辺のところをちょっと参考にしてみらばなと思います。

○片渕克也企画財政課長

もちろんこのPR動画はユーチューブも活用していきたいと思ひますし、町のホームページからもリンクできるようになるということだを考へておひます。ですから、例へば白石農業塾とは何やろうかということだは思ひた人が白石町のホームページを開いて白石農業塾をしてそこに白石の農業ということだがあつて、農業編があつて、農業編を見ればタマネギだとかレンコンだとかイチゴだとか、そういう詳細はこれからつくっていきますけども、そういう映像ということだですか、動画を見れるということだふうにつくっていきまいたいということだに思ひておひます。そのことによつて先ほどのホームページもあわせまして全国的に白石町のホームページを見ればあらかた白石の状況がわかるということだふうなことにしていければということだふうな考へてるところだでございます。

○大串弘昭議員

その中で募集かけられて、もしもこの枠にオーバーされるようなことがあれば、そういう優先順位と申しますか、これは単独ではなくて家族ぐるみでもということだふうなことだであれば、そういう人に優先でもしてもらえれば、多くの人がこちらのほうに來てもらえるんじゃないかなろうかなということだに思ひますが。

○片渕克也企画財政課長

あれですけども、農業団体、関係団体のほうでお願いをするという形になると思ひますけども、もし募集定員を上回つたら、当然面接なり論文なり、そういう試験をして、本当にいい人に來ていただくということだふうなことになるかと思ひます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないようですので、これで質疑を終わります。

討論ありませんか。

○秀島和善議員

私は議案第32号「平成26年度白石町一般会計補正予算(第8号)」に反対の立場で討論をさせていただきます。

町長に先ほど質問も行ひましたけれども、白石がばいよかとか発信事業のホームページリニューアル委託料が消費税込みで1,277万7,000円ということだを、2社からの見積りもりの積算根拠があるんだということだの説明はありましたが、常識的に余りにも高額な委託料であると思ひますので、減額補正をし、予算の組み替えを求めて町長にお願いをし、反対討論とさせていただきます。各議員の御理解と御賛同、よろしくおひ願ひ申し上げます。

○白武 悟議長

ほかに討論ありませんか。

○久原房義議員

私は賛成の立場で討論をさせていただきたいと思います。

非常に今回の地方創生にかかわる予算等については、非常に時間のない中で、非常に新年度予算、その他、非常に多忙な中に一様の事業計画がつくっていただいております。内容的には先ほど何点か数点の指摘もございましたけども、それらについては執行部のほうで今後十分詰めをいただいて、本予算が本当に地域創生になることを期待しまして賛成としたいと思います。どうぞ御賛同方よろしく願いいたします。

○白武 悟議長

ほかに討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで討論を終わります。

これより議案第32号「平成26年度白石町一般会計補正予算(第8号)」について採決をいたします。

本案に賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

起立多数です。よって、議案第32号は原案のとおり可決されました。

暫時休憩をいたします。

10時51分 休憩

11時05分 再開

○白武 悟議長

会議を再開します。

日程第4

○白武 悟議長

日程第4、議案第33号「副町長の選任について」を議題とします。

ここで百武総務課長の退場を求めます。

これより質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第33号「副町長の選任について」採決をいたします。

本案は副町長として百武和義氏を任命することについて議会の同意を求めるものがあります。この採決は、議員申し合わせにより無記名投票で行います。

議場の出入り口を閉鎖します。

〔議場閉鎖〕

ただいまの出席議員は議長を除いて17人であります。

立会人を指名します。

お諮りします。

会議規則第30条第2項の規定により、立会人として片渕彰議員、草場祥則議員を指名することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認め、立会人として片渕彰議員、草場祥則議員を指名いたします。

投票用紙を配付します。

〔投票用紙配付〕

念のため申し上げます。本案の副町長の選任について賛成の方は賛成、反対の方は反対と記載をお願いします。なお、白票は反対とみなします。

暫時休憩します。

11時08分 休憩

11時08分 再開

○白武 悟議長

会議を再開します。

投票用紙の配付漏れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

配付漏れなしと認めます。

投票箱を点検します。

〔投票箱点検〕

異状なしと認めます。

ただいまから投票を行います。議席番号の1番議員から順番に投票をお願いします。

〔投票〕

投票漏れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

投票漏れなしと認めます。投票を終わります。

開票を行います。

片渕彰議員及び草場祥則議員は開票の立ち会いをお願いします。

〔開票〕

投票の結果を報告します。

投票総数17票、有効投票17票。

有効投票のうち、賛成17票。

以上のおり賛成全員であります。よって、議案第33号は原案のおり同意することに決定しました。

議場の出入り口の閉鎖を解きます。

〔議場開鎖〕

百武総務課長の入場を許可します。

日程第5

○白武 悟議長

日程第5、議案第34号「佐賀県市町総合事務組合規約の変更に係る協議について」を議題とします。

質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第34号「佐賀県市町総合組合規約の変更に係る協議について」採決をいたします。

本案に賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

起立全員です。よって、議案第34号は原案のとおり可決されました。

日程第6

○白武 悟議長

日程第6、発議第1号「町長の専決処分事項の指定に関する条例の一部を改正する条例について」を議題とします。

趣旨説明を求めます。

○久原房義議員

それでは、発議第1号「町長の専決処分事項の指定に関する条例の一部を改正する条例について」提案理由の説明をさせていただきます。

白石町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例におきまして議会の議決に付すべき契約は予定価格5,000万円以上となっております。契約変更が生じた場合も議会の議決が必要とされております。契約変更の議決すべき事件について町長の専決処分事項に契約変更事項を加えることによって議決に係る時間が省略をされまして工事進捗が優先されることから、町長の専決処分事項の指定に関する条例の一部を改正する必要がございます。このことにつきましては、せんだって総務常任委員会及び全員協議会におきまして検討、協議をされたところでございます。内容につきましては、請負契約の議決されました契約金額の10分の1以内かつ500万円を超えない範囲内で変更契約を締結することを加えることとするものでございます。

以上、提案の理由とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○白武 悟議長

お諮りします。

発議第1号につきましては、条例の一部改正の趣旨、内容も判明しており、議員全員の同意も得ておりますので、この際、質疑、討論を省略することに御異議ございま

せんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、質疑、討論を省略することに決定しました。

これより発議第1号「町長の専決処分事項の指定に関する条例の一部を改正する条例について」採決をいたします。

お諮りします。

発議第1号については原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、発議第1号は原案のとおり可決されました。

日程第7

○白武 悟議長

日程第7、議員の派遣を議題とします。

お手元に平成27年度の議員の派遣計画を配付しております。

お諮りします。

会議規則第121条の規定により、この計画表に基づき議員の派遣をしたいと存じます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、議員の派遣計画に基づき議員を派遣することに決定いたしました。

日程第8

○白武 悟議長

日程第8、常任委員会の閉会中における所管事務調査を議題とします。

会議規則第72条の規定により、お手元に配付しておりますとおり、各常任委員長から閉会中の継続調査について申し出がっております。本件について各常任委員長から報告をお願いします。

○久原房義総務常任委員長

総務常任委員会の閉会中の継続調査申出書について申し上げます。

事件といたしましては、防災行政無線の再構築と検証についてということで、このことにつきましては防災行政無線の現状についていろいろな指摘がっております。そのことについての再構築をいかにすべきかということについて協議、検証を行ってまいりたいと思っております。

2番目としましては、公共施設マネジメント計画についてということで、膨大な公共施設の今後の維持管理あるいは長寿命化等についての計画等について検討していきたいというふうに思っております。

時期といたしましては、平成27年5月中旬ごろを予定をいたしております。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○内野さよ子文教厚生常任委員長

文教厚生常任委員会の所管事務調査について申請いたします。

本委員会は所管事務のうち下記の事件について閉会中の継続調査を要するものと決定しましたので、会議規則第72条の規定により申し出たいと思います。

事件としまして、法改正によるこれからの介護ということで、特に包括支援センターのあり方について、これについては学習会等を予定しています。

それから、2点目に町内の福祉施設の研修ということで、蓮の実とそれから白い石について行いたいと思います。期間としまして、平成27年のことし5月中旬くらいを予定しています。

以上、よろしくお願いいたします。

○大串弘昭産業建設常任委員長

産業建設常任委員会による閉会中の継続調査申し出につきましては、事件といたしましては所管する課及び委員会の新年度の主要事業ということ調査をしております。本委員会所管におきましては新年度事業もめじろ押しでございます。特に道の駅あるいは下水道事業、6次産業と、喫緊の事業が山積をいたしております。各課取り組みにつきまして調査、確認をさせていただきますので、その節はよろしくお願いいたしますおきます。時期といたしましては、平成27年4月中旬ぐらいを予定ということで申し出をいたします。

終わります。

○白武 悟議長

お諮りします。

各委員長からの申し出を閉会中における所管事務調査とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、各委員長からの申し出を閉会中における所管事務調査とすることに決定しました。

以上で本定例会に付された案件は全て終了いたしました。

会議を閉じます前に町長から挨拶があります。

○田島健一町長

平成27年3月定例議会の閉会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

議員の皆様方に今回提案いたしました議案は34件とたくさんございましたけども、十分に御審議いただきまして原案どおり可決いただきましたこと、まずもってありがたく、厚くお礼を申し上げます。私にとりまして町政のかじ取りをさせていただき3年度目折り返しの年度になるわけでありまして、今回はいろいろと提案をさせていただきました。特にことしは旧3町が合併し新白石町となって10年が過ぎました。これまで白石町総合計画を基本としてまいりましたが、これが平成26年度をもって終了いたしますことから、昨年より第2次の白石町総合計画の策定をお願いし、今議会にお

いて御承認をいただいたところでございます。この第2次白石町総合計画において目指す方向、基本理念といたしましては、前計画を踏襲し、「人と大地がうるおい輝く豊穡のまち」づくりでございます。平成27年度にはこの総合計画の一部に着手していくわけでございまして、今議会におきましていろいろと提案をさせていただいたところでございます。特に人口減少対策として子育て支援策を拡充するとした施策をお願いしたところでございます。そんなことで今議会においては数多くの一般質問をいただき、また議案審議の中においてもいろいろ御意見を賜りました。いただきました御意見などを糧に職員と一丸となってこれから3年目をスタートさせてまいります。特に本日御審議いただきました平成26年度3月補正予算の中において地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業につきましては、平成26年12月27日に閣議決定された緊急経済対策でありまして、時間がなく、内容についても明確でない部分が多々あったかというふうに思います。これにつきましては今後も議会の皆様とともに、また議会に対しても説明をしながら執行してまいりたいというふうに思っております。そして、私が公約として掲げております町民の皆さんが笑顔で元気に暮らせる豊かなまちづくりに向かって頑張っていく所存でありますので、今後とも御指導、御協力を賜りますようお願いを申し上げます。

ところで、私が町政のかじ取り役を仰せつかってからのこれまでの2年間、私を支えていただきました杉原忍副町長から今月末をもって退任したいとの申し出がございました。御承知のとおり副町長は県職員からの赴任という形でございました。極めて残念でございますが、県に復帰されての将来がございまして、いたし方ございません、承諾することにいたしました。副町長にはこれまで県とのパイプ役として県の動き、また新しい情報等を先取していただきました。さらに、職員への適切な指導も行っていました。そういったことなどから、町職員はもとより議員様や町民の方からも慕われておられました。純粋な白石もんとして、その職責を全うしていただきましたことに感謝を申し上げます。今後は健康に御留意され、県職員として一層の御活躍を願いたいと思います。あわせて、白石町のことも忘れずに御指導と御支援いただければと思います。本当にお疲れさんでした。ありがとうございました。

以上をもちまして平成27年3月定例議会閉会に当たりまして私からのお礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○白武 悟議長

副町長から退任の挨拶があります。

○杉原 忍副町長

貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。

平成25年3月議会におきまして皆様の御同意をいただき、25年4月から今月末まで副町長の任に当たらせていただきました。私、副町長という重責について経験もなく、お話がございましたときに、なぜ私でしょうかと申し上げたのが第一声でございました。白石町に参りまして県内他の市町と比べまして人口の多さ、町の広さ、予算規模

の大きさ、これはもうどうなることかと思っておりました。そういう中、町民の皆さんとお会いするたびに町民の温かさと申しましょか、人情と申しましょか、人と人とのつながりを感じたところがございます。また、白武議長様を初め議会議員の皆様から温かく励ましのお言葉をいただきましたことは何より心強い支えとなりました。今議会でも質問がありましたとおり、いろいろな課題がございます。白石町独自の課題、県内町共通の課題、いろいろございますが、執行部と議会が意見を闘い合わせながら協力し合いながら課題に克服していけるものと信じております。私も県庁の中に数多くおります白石町を応援する職員の一員としてできる限りのことをさせていただく所存でございます。町議会の皆様におかれましては今後ますますの御活躍、御健勝、そして白石町のますますの発展を祈念いたしまして退任の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○白武 悟議長

町議会を代表いたしまして一言お礼の言葉を申し上げたいというふうに思っております。

副町長におかれましては、平成25年4月から2年間、白石町行政に多大な尽力をいただきましたことに厚くお礼を申し上げます。副町長は出身地が武雄市の山内町、そして職場が先ほど町長からございましたように県の職員というふうなことから、地域なり、あるいは非常に業務内容が全く違います白石町においての要職につきましては非常に大変だったろうというふうなことで推察を申し上げるところでございます。しかしながら、十分に田島町長と二人三脚で取り組んでいただきまして、「人と大地がうるおい輝く豊穰のまち」づくりに取り組んでいただきました。おかげさまで白石町もすばらしい10周年を迎えることができました。そして、ますますの飛躍を町民が期待しておるところでございます。

最後になりますけども、今後ますますの杉原副町長の御活躍と御健勝をお祈り申し上げますお祝いの言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。

これもちまして平成27年度第1回白石町議会3月定例会を閉会いたします。

11時34分 閉会

上記、会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成27年3月20日

白石町議会議長 白 武 悟

署 名 議 員 久 原 房 義

署 名 議 員 川 崎 一 平

事 務 局 長 鶴 崎 俊 昭